

二月十九日（水）

「中村哲さんの強い思い」

昨年12月、中東の国アフガニスタンで日本人医師の中村哲さんが銃で撃たれて亡くなりました。彼は、戦争を逃れた難民たちの医療支援をし、多くの病院や診療所を作り人々に寄り添い続けました。現地ではほとんど雨が降らず、人々が渴きと飢えに苦しみ、泥水を飲み病気になる子どもが相次ぎました。井戸を掘り水路建設を手がけ、農業ができるようになりました。「飢えは薬では治せない。100の診療所より1本の水路が必要だ」